



# 田原っ子

NO. 15

鴨川市立田原小学校  
文責 前田 桂子



## 5年生が稲刈りをしました!

9月5日(火),5年生が稲刈りを行いました。

7月には,4・6年生も田んぼの草取りに協力!夏休み中には,教職員が当番制で田んぼの草取りをしてきました。大勢の人の手で大事に大事に育ててきた稲です。

当日は,米作りの先生である さんの他に5年生の保護者の方々が一緒に作業してくださいました。暑さ厳しい中でしたが,子どもたちは一生懸命に刈り取ることができました。今後,5年生が新米の販売を計画します。お楽しみに!

## COCOLOプラン

「COCOLO(こころ)プラン」をご存知ですか?!

「COCOLO(こころ)プラン」は,**C**omfortable **C**ustomized and **O**ptimized **L**ocations of learning(快適で,カスタマイズされ,最適化された学び)の頭文字から名付けられたもので,この3月に文部科学省が示した不登校対策です。

この対策では,不登校により学びにつながりにくい子どもをゼロにすることを目指しています。このプランを実現するためには,教育委員会や学校だけでなく,地域や各家庭,NPO,フリースクールなどが連携して取り組む必要があります。具体的に,次のような取組をしています。

- 学校に来られなくてもオンライン等で授業を受ける。
- 登校し,教室とは別の部屋でオンライン授業を受ける。
- フリースクールなど学校以外の場所で学習する。
- フリースクールで過ごしながらか部分登校する。

全ての子どもたちに学びの場を確保し,学びたいと思った時に学べる環境を整えることを実現させると共に,様々な学びがあるということについて子どもたちに指導していきます。保護者の皆様にも様々な学び方があるということへの理解をお願いしたいところです。



## 陸上練習、「励む」か？「いそしむ」か？

ある有名な国語学者は、日本語らしい言葉として「いそしむ」を挙げています。

「いそしむ」を辞書で調べると、「一生懸命にする」「励む」と書かれていました。意味としてはそのようなのでしょう。しかし、なんとなくニュアンスが違うように思えるのです。

「励む」からは、がむしゃらに取り組む姿を想像します。一方、「いそしむ」からは、楽しみや喜びを感じて取り組むというように、気持ちにゆとりをもって取り組む姿が想像できるのです。「励んでいる人」と「いそしんでいる人」とでは、きっと表情に若干の違いがあるのではないのでしょうか。

今、3年生以上の子どもたちは陸上練習に取り組んでいます。全員参加ですから、運動が好きな子ども好きではない子ども、得意な子ども苦手な子ども皆が練習に取り組んでいます。がむしゃらに練習するのもよいでしょうが、その中で、体を動かすことの面白さを味わったり少しの進歩を喜んだりし、「いそしんで」練習できると嬉しいです。そんなことを思いながら、日々の練習を応援しています。



## 学力の向上させるための取組②

私たち鴨川市の小学校は、千葉県の中の南房総教育事務所の管内にある学校です。その南房総教育事務所から提供された「セルフチェックシート」を活用し、指導者が自分の授業について振り返り、授業改善に役立っています。

本校では、セルフチェックシート活用週間を設定し、その週は必ず「セルフチェックシート」を使って自分の授業を振り返るような取組をしています。もちろん、「セルフチェックシート」活用週間だけでなく何回でも活用する職員もいます。

例えば、「本時の学習の手助けとなる既習事項を確認する。」「取り組むときの視点や思考の進め方を指導する。」などの項目に対して、4段階で評価します。この自己評価を積み上げていくと、「子どもが意見交換する時間が少ないかも」「まとめの時間が足りなくなりがち」というように、自分の指導の傾向が見えてきます。反省をその後の授業に生かすように努めています。

授業改善のための「セルフチェックシート」R4～			
氏名	学級	担任	
教科	単元名		
4:十分できた 3:概ねできた 2:あまりできなかった 1:できなかった			
授業前	指導者は、本時(本単元)を通して習得・能力が身に付いた児童生徒の姿をイメージしましたか?		4・3・2・1
授業中	<input type="checkbox"/> 40分(本単元)で目標(児童生徒の具体的な姿を、目標に基づいて設定する。) ・児童生徒が論から一歩「裏方・考え」を理解する。 ・児童生徒に空間・視力が身に付いたか評価する(本時で学習する)。		4・3・2・1
	<input type="checkbox"/> 児童生徒が自ら問いを見いだしたり、解決していく課題を明確にしたりしていましたか? (本時のポイント) ・児童生徒が自ら疑問をもち「主体的な学び」を実現することができるよう資料や教材を準備する。 ・自分の学習の手助けとなる既習事項を確認する。		
授業後	<input type="checkbox"/> 児童生徒が自分の考えを明確にしたり、言いや考えを基に創造したりすることができましたか? (本時のポイント) ・課題を解決する先達し、おもてよう。授業の内容上の課題をやりかたを児童生徒と話しあわせる。		4・3・2・1
	<input type="checkbox"/> 児童生徒が多様な考えを明確にしたり、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、新たな発見に気づいたりしましたか? (本時のポイント) ・「見方・考え」を論から自分ら必置な情報を知覚して論一ることができるよう、エビデンスや資料等を準備する。 ・「問い・学び」が実現できるよう、問いの視点や思考の進め方を指導する。		
まとめ	<input type="checkbox"/> 児童生徒が学んだことを確実に身に付けるとともに、新たな疑問をもちましたか? (本時のポイント) ・自分の考えを明確に話しあわせる。話しあわせることにより、自分の考えを明確にする。		4・3・2・1
	<input type="checkbox"/> 児童生徒が学んだことを確実に身に付けるとともに、新たな疑問をもちましたか? (本時のポイント) ・自分の考えを明確に話しあわせる。話しあわせることにより、自分の考えを明確にする。		
(授業改善メモ)			